

複数の利水対策案の評価 (1) 検討の流れ

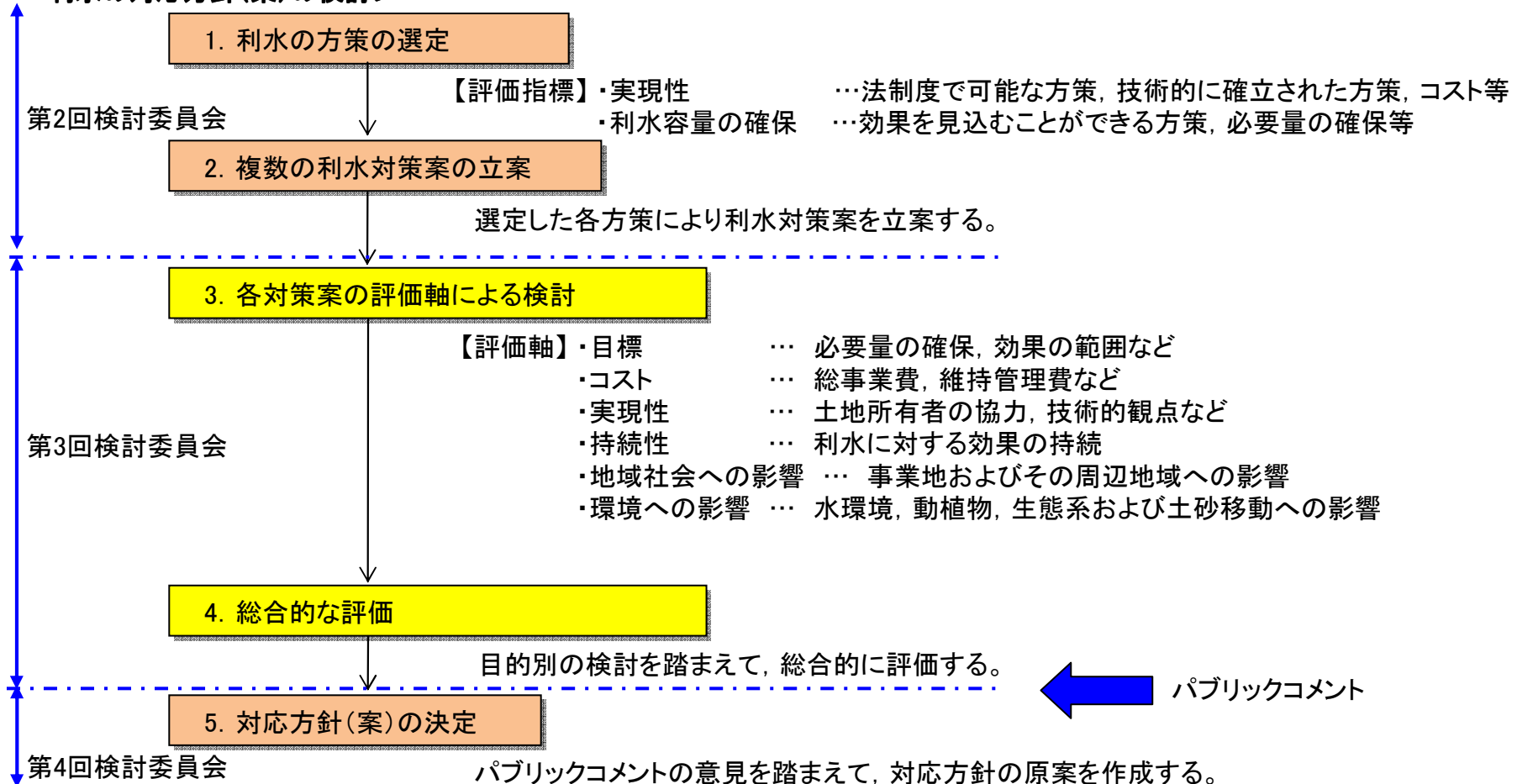
(1) 検討の流れ

「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」において、ダムを含む17の利水の方策および6項目の評価軸が示されています。

次の検討内容により利水対策案を決定します。(下図の【利水対策案の検討フロー】を参照。)

- ① 実現性と利水容量の確保の指標を基本に利水対策として検討可能な方策を17方策から選定します。
- ② ①で選定した方策を組合せ、具体的な利水対策案の検討を行います。
- ③ 目標、コスト、地域への影響や環境への影響などの評価軸について評価を行い、最適な利水の対応方針(案)を選定します。

利水の対応方針(案)の検討フロー



複数の利水対策案の評価 (2)水道用水に対する複数の利水対策案

(2)水道用水に対する複数の利水対策案

第2回委員会で立案した水道用水に対する利水対策案は、次のとおりです。

No.1: 庄原ダム案

No.2: 水道用水単独ダム案

No.3: 河道外貯留施設案

No.4: 明賀池再開発案

No.5: 既設ため池活用案

複数の利水対策案の評価 (水道用水対策)No.1:庄原ダム案(2/2)

(水道用水に対する利水対策) No.1:庄原ダム案

□ 整備内容

[ダム] ダムの目的 : 洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給

総貯水容量 : 701,000m³

利水容量(水道用水) : 130,000m³

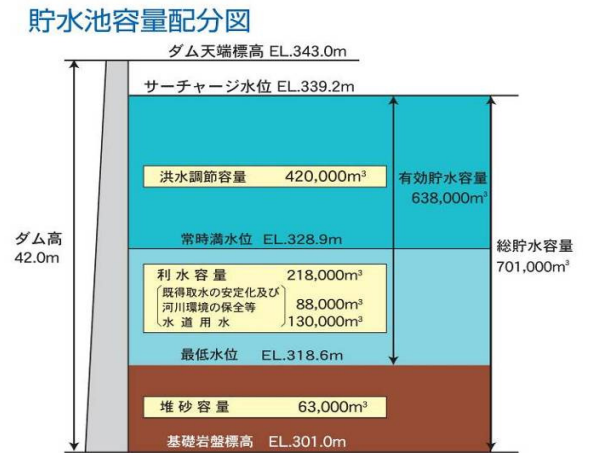
□ 庄原ダムの概要

・ダム形式: 重力式コンクリートダム

・ダム高: 42m

・堤体積: 42,400m³

貯水池容量配分図



[今後の主な補償内容]

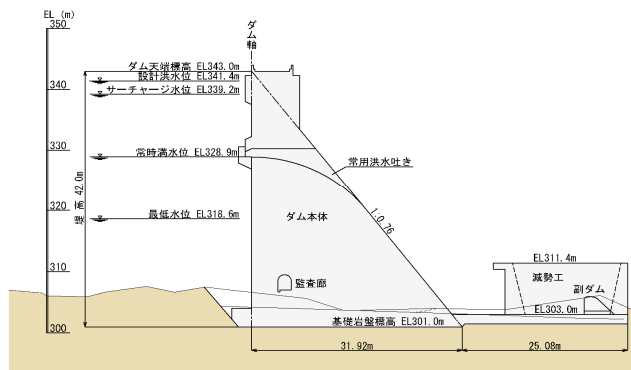
	住家	用地
ダム	0戸	0ha

※ダム事業は買収済

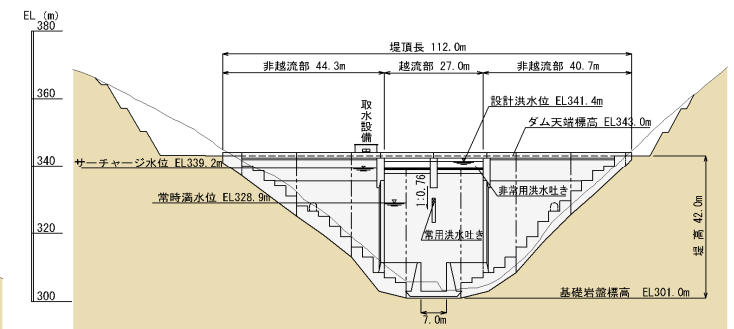
[残事業費]

	金額(億円)	備考
ダム	(5.96)	(総事業費)
【水道用水分】	3.46	進捗率42%考慮

標準断面図



堤体下流面図



複数の利水対策案の評価 (水道用水対策)No.2:水道用水単独ダム案(1/2)

(水道用水に対する利水対策) No.2:水道用水単独ダム案

庄原ダムとは別の箇所に水道用水単独のダムを築造し、石丸取水地点における水道用水のための容量を確保します。

□ 検討条件

- ・ダムの位置は、石丸取水地点上流で、利水容量を確保でき、堤体が小さくてすむ場所を検討します。
- ・西城川下流の右支川に、水道用水単独のダムを計画します。



複数の利水対策案の評価 (水道用水対策)No.2: 水道用水単独ダム案(2/2)

(水道用水に対する利水対策) No.2: 水道用水単独ダム案

□ 整備内容

[ダム] ダムの目的 : 水道用水の供給
 総貯水容量 : 151,000m³
 利水容量(水道用水): 130,000m³

[主な補償内容]

	住家	用地
ダム	0戸	2.81ha

[事業費]

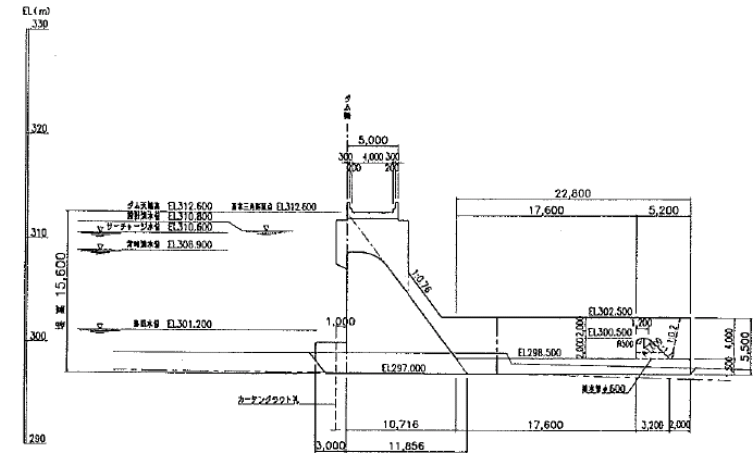
	金額(億円)	備考
ダム	8.00	

□ 水道用水単独ダムの概要

- ・ダム形式: 重力式コンクリートダム
- ・ダム高: 15.6m
- ・堤体積: 6,520m³

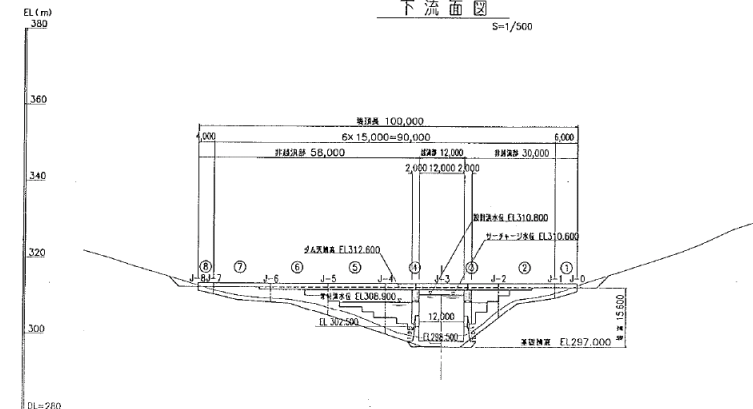
標準断面図

標準断面図
S=1/250



堤体下流面図

下流面図
S=1/500



複数の利水対策案の評価 (水道用水対策)No.3:河道外貯留施設案(1/2)

(水道用水に対する利水対策) No.3:河道外貯留施設案

西城川沿川の河道外に貯留施設を設け、石丸取水地点における水道用水のための容量を確保します。

□ 検討条件

- ・河道外貯留施設は、石丸取水地点の上流で、利水容量を確保でき、補償物件の少ない場所(水田)を検討します。
- ・西城川沿川の水田に、河道外貯留施設を計画します。



複数の利水対策案の評価

(水道用水対策)No.3: 河道外貯留施設案(2/2)

(水道用水に対する利水対策) No.3: 河道外貯留施設案

□ 整備内容

[河道外貯留施設]

利水容量(水道用水) : 93,000m³

[主な補償内容]

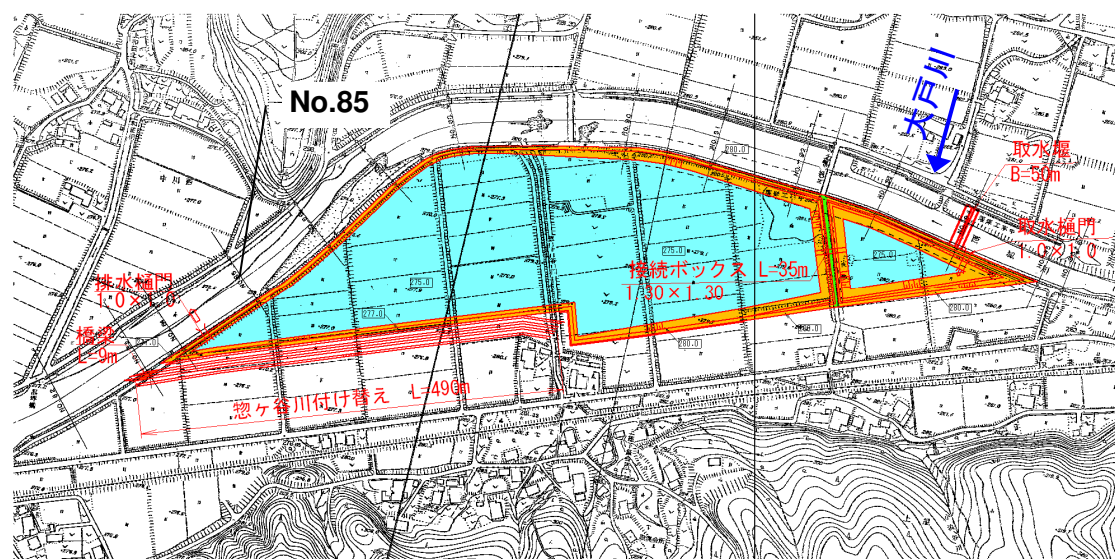
	住家	用地
河道外貯留施設	0戸	13.2ha

[事業費]

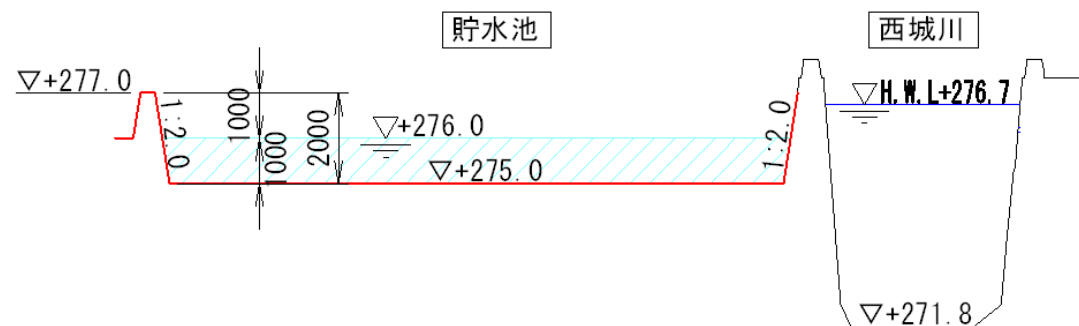
	金額(億円)	備考
河道外貯留施設	48.00	

□ 河道外貯留施設の概要

貯留施設面積: 12.8ha



横断面図(No.85付近)



複数の利水対策案の評価 (水道用水対策)No.4: 明賀池再開発案(1/2)

(水道用水に対する利水対策) No.4: 明賀池再開発案

明賀池を再開発することにより、石丸取水地点における水道用水のための容量を確保します。

□ 検討条件

- ・老朽化した明賀池の堤体をかさ上げすることによる再開発を計画します。



複数の利水対策案の評価 (水道用水対策)No.4: 明賀池再開発案(2/2)

(水道用水に対する利水対策) No.4: 明賀池再開発案

□ 整備内容

[ダム再開発]

ダムの目的: 水道用水の供給

利水容量(水道用水) : 124,100m³

[主な補償内容]

	住家	用地
ダム	0戸	0.72ha

[事業費]

	金額(億円)	備考
ダム再開発	23.00	

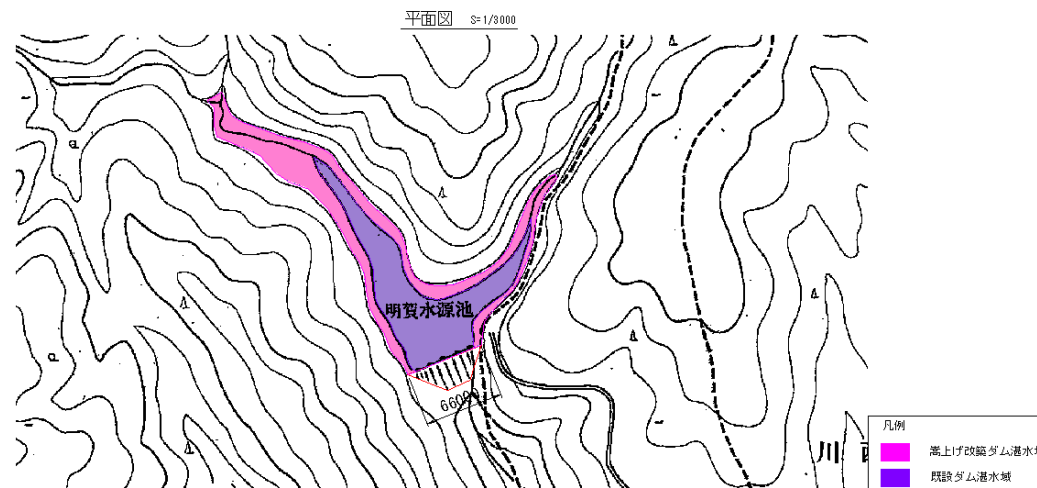
□ 明賀池再開発案の概要

・ダム形式: 重力式コンクリートダム

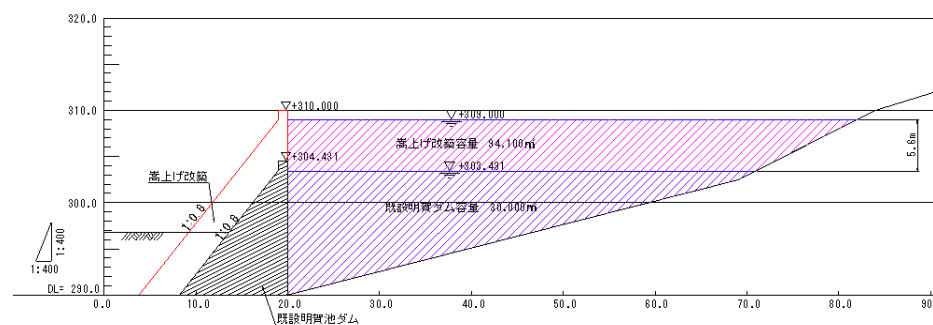
・ダム高: 20.0m

・堤体積: 19,300m³

平面図



縦断図



複数の利水対策案の評価

(水道用水対策)No.5:既設ため池活用案(1/2)

(水道用水に対する利水対策) No.5:既設ため池活用案

国兼池と上野池を利用することにより, 石丸取水地点における水道用水のための容量を確保します。

□ 検討条件

- ・国兼池と上野池の2池の利用を検討します。
- ・各池から石丸取水地点上流まで, 導水管の設置を計画します。

